



高槻de演劇

Takatsuki de Engeki 2024

2024.05.23(木) — 07.07(日)

高槻城公園芸術文化劇場

南館 サンユレックホール

南館 中スタジオ1^他

高槻で演劇が
いっぱい!!

6劇団の演劇公演と、
シンポジウムを開催!

高槻城公園芸術文化劇場が行う演劇の交流連携型事業。50歳以上の劇団員で構成された高槻シニア劇団「千年団」の第5回公演、高槻シニア劇団「そよ風ペダル」の第10回公演、京都を拠点に活動するシニア劇団「銀宴」の高槻特別公演を実施するとともに、高槻市内を拠点に活動する市民劇団「水曜の家族」および「あした帰った」の公演、そして劇研アクターズラボ高槻の公演を実施します。また、関連事業としてシンポジウム『市民劇と地域文化』も開催します。

演劇公演

チケット
発売日

【一般・高槻文化友の会 共通】

4/17(水) Web・窓口 | 10:00- * 劇場販売は Web・窓口のみの受付です

販売場所

高槻城公園芸術文化劇場南館1F (〒569-0077 | 高槻市野見町6-8)
TEL. 072-671-9999 (10:00~17:00 | 月曜休館 * 祝日の場合は翌日)

シンポジウム

お申し込み

高槻城公園芸術文化劇場 Web
申込フォームにて受付

[https://www.takatsuki-bsj.jp/
contact/6665d03f0187c85/](https://www.takatsuki-bsj.jp/contact/6665d03f0187c85/)

4/17(水) 10:00から受付開始
(先着順 | 定員に達し次第締切ます)



各公演、シンポジウムの日時、チケット料金などは裏面をご覧ください

高槻シニア劇団 千年団 第5回公演『和解』

6/21(金) 14:00-

作・演出：小原延之

もしもあの時、違う選択をしていたら、今とは違う別の世界があったかもしれない。もしもあの時、違う出来事があったのなら、また別の世界を今、生きているのかもしれない。つつい私たちは「もしも」に思いを馳せ、現実から逃がれる時がある。でも、それは今の人生から目を背けているわけではない。むしろ理不尽な出来事を受け入れるための一つの手段だ。「和解」は、2018年の大阪北部地震の日。震源地だった高槻に住む家族の物語。

劇研アクターズラボ高槻 『ツバメ食堂』

6/22(土) 19:00- 6/23(日) 14:00-

構成・演出：二口大学

「ツバメ食堂」と呼ばれている空間にはメンバー6人が週二回集っている。ある日、ここに以下のあらすじが書かれた紙が置かれていた。「県境にある小さな町。旧街道がある県道に面した小さな食堂。近くには小学校がありチャイムの音などが時折、聞こえてくる。食堂は交通量の多い県道の拡張工事のため立ち退きを迫られているが、食堂を父親の代から続けている女主人は立ち退きに応じていない。近所に住む幼馴染みは、町内での女主人の立場が悪くなるのを心配して説得を試みるが、女主人は頑だ。そして、、、メンバーはこの話とどう向き合っていくのか。あらすじを巡る、メンバーそれぞれの旅が始まる。メンバーそれぞれがテキストとなる創作劇。

シニア劇団 銀宴 第10回公演『覚えられません!』

6/29(土) 11:00- 6/30(日) 15:30-

作・演出：田辺剛(下鴨車窓)

とある劇団の物語。降板する出演者、変わる台本、よく分からない助っ人。本番を間近にして混乱する稽古場で、それでももう公演中止にはできないと奮闘する劇団員たち。最大の難関は覚えにくい台詞の数々だ。そんな彼らを助けてくれる人はいったい誰なのか。銀宴の記念すべき第10回公演はウソか本当か分からないような、ハラハラするけどクスッと笑えるコメディです。

高槻シニア劇団 そよ風ペダル 第10回公演『空トーンの興亡』

6/29(土) 15:30- 6/30(日) 11:00-

作・演出：筒井潤(dracom)

とある地方の百貨店。店内にある休憩用のベンチに、洒落込んでいるダンディな客たちが腰を掛け、それぞれにノートやメモ紙を手にして何やら熱心に言葉を綴っている。そこに描かれている出来事や物語は、書き手の頭のなかで、百貨店に佇む他の客たちによって上演される…。溢れんばかりのユーモアのなかに、そこはかたない情愛やピリッとスパイスの効いたところもある、そよ風ペダルお得意のナンセンスコメディ。

あした帰った(ex-劇研アクターズラボ+伊藤拓也) 『シリーズ 集まりをひらく』

構成：あした帰った 演出：伊藤拓也

あなたはいくつの集まりに身を置いてきただろうか。どういった集まりを好ましく思い、どういった集まりを避けてきただろうか。集まりに生まれ落ちたあなたは、やがて集まりを去りゆくだろうか。集まりはあなたを、あなたは集まりを、迎え入れるだろうか。

『シリーズ 集まりをひらく』は「あした帰った」による上演シリーズです。期間中に2つの無料企画を含め、計7つの上演を行います。各上演は入替制ですが、参加中の入退場は自由です。誰かとお話ししたい方、誰かの話を聞きたい方、誰かの手伝いがしたい方、誰かと共にいたい方、お集まりください。

7/4(木) 19:00-21:00 プレ企画(*無料)

7/5(金) 19:00-21:00 トークセッション(*無料)

*プレ企画・トークセッションは要予約/劇団のみ受付

7/6(土) 10:00-12:00 ①「入る」

14:00-17:00 ②「想う」

19:00-21:00 ③「聞く」

7/7(日) 10:00-12:00 ④「遊ぶ」

14:00-17:00 ⑤「去る」

*内容詳細は、4月17日(日)以降に劇場ホームページ等に掲載予定。

劇団 水曜の家族 第9回公演 音楽劇『あたかも文豪』

7/6(土) 18:00- 7/7(日) 13:00-

作・演出：村上慎太郎(夕暮れ社 勇男ユニット)

数十年前にヒットした空城先生の少年少女ロマン小説「無人島の空」。それ以降、くだんの昭和文豪の如きふるまいで、ツケで愛人と酒を飲み、借金に博打にめっちゃくちゃ暮らしをしていた。だが、そんな生活も陰りを見せ始める。愛人が手切れ金を要求してきたり、ゴーストライターにも愛想をつかさされたり…。気楽で刺激的な生活がひっくり返りはじめる。目を閉じて空想世界に浸り逃げこむも、編集者が頭の中まで追いかけてくるし…。果たしてどうすれば空城の憧れた文豪生活に戻れるのか…。記念すべき劇団水曜の家族第9回公演は、夢と金と恋愛のメロドラマ音楽劇です。

| | | |
|------------------|--|--|
| 料金 | 千年団・劇研アクターズラボ高槻・銀宴・そよ風ペダル・水曜の家族 | あした帰った |
| | 前売り 2,000円 当日 2,500円 高槻文化友の会 1,800円 (*前売りのみ) *未就学児の入場はご遠慮ください。 | 一般 1,500円 高槻文化友の会 1,300円 (*前売りのみ) *介助者を伴う申込みは電話でのみ受け付けます(介助者無料) *未就学児入場可(無料) |
| 会場 | 南館 サンユレックホール | 南館 中スタジオ1 |
| *開場時間は全て開演の30分前* | | |

シンポジウム 市民劇と地域文化

5/23(土) 14:00-

定員：20名(入場無料/要予約) 会場：中スタジオ4 *30分前受付開始

高槻 de 演劇参加のアーティストおよびゲストをお招きし、地域における市民劇文化について語り合います。普段聞けない専門的なお話もします。演劇を勉強されている方などにもお勧めです。

*当日来れない方向けに内容を録音編集したものをホームページなどで公開予定。

[パネリスト] 小原延之(劇作家・演出家) | 二口大学(俳優・演出家) | 田辺剛(劇作家・演出家) | 筒井潤(演出家) | 伊藤拓也(演出家) | 村上慎太郎(劇作家・演出家) [ゲスト] 鯨エマ(NPO法人シニア演劇ネットワーク理事長/演出家・俳優) [進行] 杉山隼(高槻de演劇プロデューサー)

[申し込みフォーム] <https://www.takatsuki-bsj.jp/contact/6665d03f0187c85/>



【お問合せ】

高槻城公園芸術文化劇場 南館 1F

〒569-0077 高槻市野見町6-8

TEL: 072-671-9999

(10:00-17:00 | 月曜休館 * 祝日の場合は翌日)

- 阪急「高槻市」駅より徒歩約8分
- JR「高槻」駅より徒歩約13分

【高槻de演劇 総合公演ページ】

<https://www.takatsuki-bsj.jp/tat/event/20240124-1772>



MAP

